

平成 28 年度事業報告
(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 映像産業振興機構

1. 事業の経過

平成 28 年度の通常総会（平成 28 年 6 月 21 日開催）でご承認いただきました、平成 28 年度の事業計画書、会計収支予算書に基づき、人材育成事業、内外の市場開拓等に関する事業を実施致しました。各事業の実施状況につきましては、次の通りであります。

2. 主な事業の実施状況

(1) 人材育成事業

① 短編映画作品製作による若手映画作家の育成 (ndjc2016)

文化庁 1 億 2 千万円

11 年目を迎えた本年度は、36 の映像関連団体等より有望な若手作家の推薦をいただき、応募 75 名（前年 76 名）の中から 15 名がワークショップ（8 月 12 日～8 月 21 日）に参加しました。

ワークショップ参加者 15 名の中から選ばれた 5 名が製作実地研修に進み、制作プロダクションのご協力のもと、35 ミリフィルムで 30 分の短編映画作品を完成させました。完成された 5 作品は 2 月 21 日の丸の内 TOEI でのお披露目を皮切りに大阪、名古屋、京都、新潟で合評上映会が行われました。また、東京と大阪でそれぞれ 1 週間の一般公開も 3 月に終了しております。この 10 年間に完成した 52 作品についても、引き続き発表機会の提供活動を行っております。

主な ndjc 作品の発表機会 (ndjc 自主事業の一環として)

1. BS スカパー！（配信）
2. 青山シアター（配信）
3. 国内外映画祭における主な招待上映（海外 5、国内 8 映画祭）

これまでの参加作家の中から昨年度(2012 期 1 名、2010 期 1 名、2009 期 1 名)に引き続き今年度も商業用長編映画デビューを果たした監督も出てきています。特に中野量太監督(2008 期)の『湯を沸かすほどの熱い愛』（クロックワークス配給）は数々の賞に輝き（日本アカデミー賞最優秀主演女優賞、最優秀助演女優賞、新藤兼人賞）、日本映画界の将来を背負う監督の一人とみなされております。そのほかにも熊谷まどか監督（2008 期）、金井純一監督(2009

期)、堀江貴文監督(2015 期)が商業デビューを果たし、4 月以降も新作が公開予定の監督たちが控えております。

② 映画・映像人材育成事業

京都府 700 万円

京都府との事業は、2009 年度より受託している『京都映画企画市』(450 万円)と『京都クロスメディア推進戦略拠点事業』よりの再委託事業(250 万円)となりました。『京都映画企画市』は、従来通り時代劇映画の企画募集ですが、15 の意欲的な企画が応募されました。選ばれた企画(題名『黒の牛』。江戸時代の農民と牛の生活をセミドキュメンタリータッチで描く。)のパイロット版の撮影は終了しており 3 月末に納品されました。(4 月以降、関係者向け上映予定。)再委託事業のコンテンツを軸としたセミナーの開催は無事 4 回分が終了しております。特にクラウドファンディング活用セミナーは定員オーバーとなり大変好評でした。

(2) 内外の市場整備事業

① コンテンツ産業強化対策支援事業

経済産業省 5200 万円

コ・フェスタ(JAPAN 国際コンテンツフェスティバル) 2016

10 回目の開催となったコ・フェスタ 2016 は、これまでコンテンツ産業および関連各種イベントを連携させた統合的コンテンツフェスティバルとして効果を上げてまいりました。平成 28 年度は、各種イベントを効果的に海外に発信するため次の 4 つを活動の柱とし、実施を致しました。

I. 日本コンテンツに関する国内外での「調査」

➡「日本コンテンツのニーズ調査」を海外パートナーイベントの参加者、海外在住の外国人、日本在住の外国人合計 1282 名(49 の国と地域)を対象に実施をした。コ・フェスタイベントの海外での認知度調査や、好きな日本コンテンツ、見てみたい、会ってみたい日本人の調査をまとめた。

II. コ・フェスタ参加イベントへの「来場促進」

➡空港他、都内各所、コ・フェスタイベントの他、シンガポールインドのイベント等、合計 160 か所で TOKYO CONTENT EVENTS MAP を配布した。

III. オフィシャルサイトの他、世界 30 以上の国と地域の留学生を組織化したコ・フェスタアンバサダーや英語での日本コンテンツ情報サイト“JAPACON”を通じた「情報発信」

➡公式 Youtube チャンネル設置しオリジナル番組を配信すると同時に、JAPACON、Anichan、Tokyo Otaku Mode でも配信をした。海外では同オリジナル番組をインドゲーミングショー、イベントステージで常時配信をし、海外ファンに直接プロモーションをした。

コ・フェスタアンバサダー：外国人留学生 登録数約 200 名。各イベントのスタッフとしてのサポート、SNSによる情報発信、イベントレポートの発表、外国人向けイベントツアー等、イベントの垣根を越えて精力的に活動をおこなった。

結果、アンバサダーによる海外発信リーチ可能数は、約 200 万人に達した

(2012 年スタート時 68,500 人)

IV. 海外や地方でのイベントを含めた「イベント連携」

東京ゲームショウ 2016、東京国際映画祭、Japan Content Showcase、Anime Japan 4 つのコアイベント、12 のオフィシャルイベント、海外地方を含む 18 のパートナーイベントを選定した。9 月 9 日には、イベント主催者が各イベントについてプレゼンテーションをする、イベント説明会を実施し、相互の情報交換の場を提供した。

コ・フェスタ 2016 の主な活動

8 月 10 日 コ・フェスタ 2016 実行委員会総会 於：経団連会館

9 月 5 日 ジャパンコンテンツ総合会議にてコ・フェスタを紹介
於：経団連会館（参加者 380 名）

9 月 9 日 コ・フェスタ 2016 記者説明発表会及びイベント説明会
於：VIPO（参加者 118 名）

② 京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ 2016）

京都市 250 万円

コ・フェスタ 2016 のオフィシャル・イベントである KYOTO CMEX 2016 のアニメ・マンガ部門の統合イベントとして第 5 回京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）が 9 月 17 日、18 日の両日開催され、43,936 名が来場しました（前年比 119%）。当機構では、昨年度より始めました京まふ漫画賞を今年度も実施しました。今年度は対象国・地域を台湾のみならず中国へ拡大しました。それぞれの優勝者を京まふへ招待し授賞式を行いました。昨年同様、台湾の優勝者に大手出版社の編集者が担当に付き、現在、企画開発が進んでおります。昨年同様、プロデビューする可能性が高いと思われます。

③ コンテンツ海外展開等促進事業

経済産業省 約 67 億円

平成 27 年度補正予算による「地域発コンテンツ海外流通基盤整備事業費補助金」(JLOP) の募集を平成 28 年 2 月 22 日より開始しました。採択件数は 953 件でした。全件確定検査は終了しております。本事業には、権利情報を含むコンテンツ海外販売用のデータベースの整備事業が含まれておりましたが、無事 3 月から稼動を開始しております。登録された件数は約 11,000 件となっており、今後の活用と登録件数の拡大に努めてまいります。

④ コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業

経済産業省 約 60 億円

平成 28 年度補正予算による「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金によるコンテンツ等海外展開支援事業」(J-LOP4) が平成 28 年 12 月 19 日よりスタートしております。採択は順調に進んでおります。本事業には、海外展開支援に資するバイヤー・リスト、海外イベント・リスト等の整備と数々のマッチングイベントの開催が含まれております。先日のアニメジャパンにおいて日中の事業者のマッチングイベントを第 1 弾として開催しました。

⑤ 地域発コンテンツの広域発信支援事業

経済産業省 約 1.5 億円

平成 28 年度予算における当該補助金事業の事務局を受託致しました。この補助金は、地域におけるコンテンツ製作費用を最大 1 千万円まで補助するものですが、プロダクトプレイスメントもしくはインバウンド施策の取り込みが必須となっている事業です。応募が 77 件あり 18 件を採択しました。全件、2 月までにコンテンツの製作を確定検査の上、支払いまで終了しております。

(3) 自主事業

① VIPO アカデミー

2015 年 5 月に 1 コースを開設し、今年度は 2 年目を迎えました。コンテンツ業界各社に確実に浸透して来ており、アカデミーに参加することを目的に入会する企業も数社現れて来ています。様々な企業との直接的なコンタクトにより、各社のニーズを把握する機会が生まれ、V I P O の活動拡大の可能性に繋がって来ております。又、各コースに V I P O スタッフ (出向者含め) が参加することにより、スタッフのスキル、知識及びモチベーションの向上にも繋がって来ております。

●春期（4月～8月）の実績（以下、参加者人数は、VIPOスタッフ除く）

- 「コーポレートリーダーコース4期」参加者9名
- 「プロジェクトリーダーコース2期」参加者11名
- 「業界研究ベーシックコース2期」参加者201名（延べ）
- 「グローバルビジネスコース2期」参加者7名

●秋期（9月～12月）の実績

- 「コーポレートリーダーコース5期」参加者9名
- 「プロジェクトリーダーコース3期」参加者11名
- 「業界研究ベーシックコース3期」全12回一括参加者16名（延べ192名）その他単発受講者延べ約100人。
- 「グローバルビジネスコース3期」参加者5名

なお、秋期より新たにコンテンツ業界に従事するすべての人に持っていて欲しい知識を、プロフェッショナル講師が事例をベースにわかりやすく解説する「ファイナンス・エッセンシャルコース1期」（9月から10月 6名）及び「リーガル・エッセンシャルコース1期」（11月から12月 15名）を開講致しました。

●冬期（1月～3月）の実績

- 「ファイナンス・エッセンシャルコース2期」参加者11名
- 「リーガル・エッセンシャルコース2期」参加者27名

●来年度への展望

基本の6コースが立ち上がった故、開催頻度を年二回に減らすこと及び継続的な質のアップにより、一回当たりの参加者の増加及びそれに伴う事業採算の向上を目指します。2月9日より、春のコースの募集を開始。

② セミナー・ワークショップ事業

- 4月25日 海外イベント合同説明会（135名）
- 5月12-13日 アクターズワークショップ 犬童一心監督（24名）
- 6月16日 3時間でいっきに分かる！映像知識セミナー（75名）
- 6月10日 プロデューサーズカフェ（40名）
- 8月3日 福井健策弁護士コンテンツ法律セミナー「配信プラットフォーム契約攻略法」（69名）

- 9月 5日 ジャパンコンテンツ総合会議 (380名)
- 10月14日 アクターズセミナー賞選定オーディション 2016
(60名)
- 10月26日 海外エージェントビジネスマッチング (80名)
- 11月18日 - 12月2日
映画プロデューサー養成セミナー 基礎編 (39名)
- 11月24日 コンテンツ業界インバウンド・トークセッション
(35名)
- 12月5 - 7日 アクターズワークショップ 映画「ミッドナイト・バス」 (60名)
- 1月18日 福井健策弁護士コンテンツ法律セミナー「AI著作権の
攻略法」 (20名)
- 1月26日 ローカライズ企業ビジネスマッチング (90名)
- 2月8日 コンテンツ製作のためのクラウドファンディング活用セ
ミナー (50名)
- 3月9日 海外イベント合同説明会 (150名)
- 3月29日 コンテンツ製作のためのクラウドファンディング活用セ
ミナー (50名) (前回好評につき、追加実施)
- 年間実施本数 16本 (有料12本・無料4本)
- 総来場者数 1357名

③ ジャパンアンバサダー事業

外国人に日本文化の海外への拡散協力をしてもらう体制を整備することで、日本企業の海外展開を支援するとともに、外国人に対する日本ブームを極大化することを目的にした自主事業。

海外展開を志向する日本企業へ向けて、外国人主体の各種サービス（例：マーケティング支援、海外展開支援、人材支援など）を提供しました。

実施案件：1 ツーリズム EXPO ジャパンへの外国人スタッフ支援

1) ジャパンナイト外国語ガイド 12名

2) ツーリズム EXPO ジャパン内でのバイヤーツアーガイド
24名

3) ジャパンナイトの事前 SNS 告知 19名

2 所沢市観光PR事業 外国人観光体験ツアースタッフ支援
1名

3 海外コンテンツ市場調査 民放連

日本コンテンツに関するインターネット調査（3か国、1,500名）

④ AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すと共に、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築する事を目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatory へ留学を希望する日本人の推薦活動を再開致しました。AFI Conservatory への入学が正式に決定した場合、“T.Y.奨学金制度” が AFI Conservatory の判断により給付される可能性があります。

また、将来的には留学生、卒業生等の講演やワークショップを日本で実施するなど、AFI へ留学を希望する日本人の数および質の向上を目指しております。

➡2名応募あり。面談を実施し1名候補を決定したが、結果本人が辞退したため、推薦はなしであった。

⑤ 交流促進事業

- ・海外の同様の機関等と交流の推進

日印国際産業振興協会 表敬訪問受け入れ（4月）

マレーシア貿易公社主催 マレーシア・デジタル・コンテンツ産業

ダイアログセッションでのプレゼンテーション（9月）

Project Anime 海外イベント主催者へ向けプレゼンテーション（3月）

（4）組織運営

① 会員の状況

1. 新規入会

個人会員 0名 法人会員 6社 賛助会員 0社

2. 退会

個人会員 0名 法人会員 0社 賛助会員 2社

3. 現在の状況

・会員数：個人会員 8名 法人会員 96社 賛助会員 10社

・会費及び入会金入金額(予定含む) 50, 130, 000円

(昨年比1, 400, 000円増額)

② 通常総会、理事会、幹事理事会

1. 通常総会

平成28年6月21日に通常総会を開催し、平成27年度の事業報告・会計報告、平成28年度の事業計画・予算・役員を選退任、年会費の件及び定款変更について決議をいただきました。

2. 臨時総会

平成28年11月14日に臨時総会を開催し、役員を選任について決議をいただきました。

3. 理事会

- ・平成28年6月9日に開催し、通常総会の審議事項について決議いただきました。また、規程の一部改訂につき決議いただきました。
- ・平成28年6月21日に開催し、理事長、副理事長、幹事理事の選任を決議いただきました。
- ・平成28年11月2日に開催し、臨時総会の招集及び役員候補の選任を決議いただきました。
- ・平成28年11月28日に開催し、平成28年度中間事業報告を行いました。また幹事理事の選任及び京都事務所移転について決議いただきました。

4. 幹事理事会

- ・平成28年6月9日に開催し、平成27年度の事業・会計の報告を行いました。また、平成28年度の事業計画(案)・予算(案)・役員選退任(案)年会費の件及び定款変更(案)について報告を行いました。
- ・平成28年9月5日に開催し、平成28年度事業の進捗等の報告を行いました。
- ・平成28年11月28日に開催し、平成28年度中間事業報告を行いました。また、幹事理事の選任(案)及び京都事務所移転(案)についての報告を行いました。
- ・平成29年3月27日に開催致しました。平成28年度事業報告(案)、平成28年度収支見通し、平成29年度事業計画(案)についてご検討頂きました。

5. 会員交流会

平成28年6月21日に当機構会員・役員、関係省庁（内閣官房知的財産戦略推進事務局、総務省、外務省、文化庁、経済産業省）関

係団体・企業の皆様をお招きして交流会を開催し多数のご参加を頂きました。本会では同日に行われた通常総会のご報告をするるとともにご出席の皆様の交流を深めていただきました。

(5) 広報活動

①「V I P O年間活動報告2016」の発行

「V I P O年間活動報告2016」を6月21日付にて発行し、総会、会員交流会等で配布しました。その後、事業・広報活動等で活用しております。

②英語の事業紹介パンフレットの制作

J-LOP4、CoFesta、セミナーなど海外事業者に関係のある2017年度の事業内容を紹介する英語版パンフレットを、2017年2月に制作しました。

③ホームページの運営

ホームページにおいて、随時活動報告及びコンテンツ業界の情報を掲載いたしました。

8月21日に、会員の皆様をはじめ多くの方々にとってより使いやすいホームページを目指し全面リニューアルいたしました。また、9月よりコンテンツ業界に関わる人やイベントをテーマにしたインタビュー記事を掲載する新企画を開始し、以下を取り上げました。

- 2016年9月 Japan Content Showcase 2016
- 2016年10月 TOKYO DESIGN WEEK とデジタルコンテンツ EXPO
- 2016年11月 MIPCOM 2016
- 2016年12月 コンテンツ業界に必要な法律知識
- 2017年1月 コンテンツ業界に必要な会計知識
- 2017年3月 JACC 事業
- 2017年3月 India Gaming Show 2017

④V I P O会員とコンテンツ事業者へのメール配信

V I P Oの活動報告を毎月定例で発信する「V I P Oプレス」の発行と、会員各社の情報や事業活動などを不定期に発信する「V I P Oニュース」を継続的に発信しました。メールニュースの配信先数（コンテンツ事業者）は、8、766件（2017年2月28日現在）です。

⑤事業活動情報の記事露出

各イベントへの取材誘致活動やプレスリリース配信などを通し、プレスに対し事業活動の最新情報を定期的に発信することで、業界紙・誌を中心にパブリシティを獲得いたしました。→昨年度は約180件、今年度は約240件（2017年2月28日現在）の記事掲載がありました。

以上